

警鐘レポート4 気管切開術後早期のチューブ逸脱・迷入による死亡

事例16

< 事例概要 >

- ・肺炎、人工呼吸管理中
- ・気管切開術後6日目、除圧目的で気管切開チューブのフランジ部分を抜糸。体位変換時、チューブのカフが見えたため押し込んだが、徐々にSpO₂が低下。チューブを再挿入し、バックバルブ換気を行うが換気できず、経口換気に切り換えた。SpO₂は上昇せず、チューブのカフが見えてから約1時間後に死亡。
- ・死因：換気不全疑い。解剖無、Ai有（緊張性気胸）。